

第 R7 回日ク発第 027 号
令和 7 年 11 月 24 日
(公社) 日本クレール射撃協会
常務理事 大内 智喜
(※ 公 印 省 略)

2026 アジア、アジアパラ競技大会に係る N T O 及びスポーツボランティアの候補者募集

2026 愛知・名古屋アジア競技大会、アジアパラ競技大会の開催が一年余りとなり、ASIA 大会組織委員会（以下 AINAGOC=アイナゴック）との間で具体的協議が進展している状況であります。

標記の N T O（National Technical Official=競技役員）及びスポーツボランティア（SSV）については、大会テストイベント、アジア競技大会での競技役員及び競技ボランティアとして、各 50 名程度を必要とするところであります。

クレール射撃競技の将来を担う方からのご応募を、協会の方で取りまとめさせていただいたうえで、大会組織委員会の方へ推薦させていただくこととしておりますので、協会 HP 上に掲載しておりますエントリーフォームに記入をお願いいたします。

記

1. 推薦役職

N T O（競技役員）及びスポーツボランティア※（競技ボランティア）※N T O の指示のもとにスポーツボランティアが補助スタッフとなる。

2. 要員必要人数

N T O（競技役員） 約 20 名スポーツボランティア（競技補助ボランティア）約 30 名

3. 出役対象大会

アジア競技大会テストイベント（2026 年 8 月ころ）

- ① 2026 愛知名古屋アジア競技大会（2026 年 9 月～10 月）
（FOP 業務・アーモリー業務・アスリートラウンジ業務他、銃砲所持許可をお持ちの方）
- ② 2026 愛知名古屋アジアパラ競技大会（2026 年 10 月）
（パラクレールの開催はありませんが、大会期間中も従事可能な銃砲所持許可をお持ちの方）

③空港にて選手の入出国の補助等

※全ての大会に出役しなければならないということではありませんが、概ね 5 日以上の出役をお願いいたします。短期間なら可能である方は別途ご相談ください。

* 申し込み欄にて選択可能

4. 今後の予定

1 月中旬候補者集計

* 協会の方で、応募者の方々の情報を取りまとめて組織委員会に推薦

2026 年 2 月頃（未定）に研修を兼ねた N T O 及びスポーツボランティア要員説明会を実施

5. 候補者の条件

（NTO＊競技役員）

希望者多数の場合、以下の基準（優先順）で選考させていただきます。

射撃競技を愛し、心身とも健康な方

ISSF 国際審判員資格保持者

JCTSA 公認審判員資格保持者

競技大会運営に携わった経験のある方で公認審判資格を取る意思のある方

20 歳以上の方（2026 年 9 月 1 日現在）

銃砲刀剣類所持許可証をお持ちの方

（SSV＊競技ボランティア）

射撃競技を愛し、心身とも健康な方

原則として銃砲刀剣類所持許可証をお持ちの方

20 歳以上の方（2026 年 9 月 1 日現在）

6. 交通費等の経費

（NTO＊競技役員）

交通費、宿泊費は AINAGOC が負担します。夕食・ランドリー代金に相当する日当は計画段階で US\$ 100 というのですが、最終通知は未受領です。宿泊地に関しては現在、検討中で、かつ宿泊地から会場までの移動については組織委員会負担となります。

* 会場への交通の便が悪いため、自家用車の駐車が可能な場所を会場近くに確保する計画（未定）があります。

その駐車場所を、会場までの輸送バスの中継地とする可能性がありますので、自家用者利用を希望される方は、申し込みフォーム項内の、「自家用車利用の可否」についての回答も併せてお願いいたします。（交通費支給額については実施決定後に要協議）

（SSV＊競技ボランティア）

一般ボランティアの一次募集は終了していますが、NFからの競技補助ボランティア（SSV＝スポーツ・スペシフィック・ボランティア）の募集要項・待遇等の最終決定は、組織委員会から連絡があり次第、お知らせします。

SSVの職域は、FOP（競技エリア）ならびにアーモリー（銃器保管庫）、その他となります。

7. お申し込み方法

お申込はインターネットによるエントリーのみ

8. お申し込み期間

2025年12月末まで

※但し、想定数に達し次第募集を終了します

以 上